

秋の縄文野焼き作品展

# - 大地と炎の恵み -

会期 2016年 12月1日(木)~2017年 2月26日(日)

植物が伸びゆくような文様や、ユーモラスな動物の造形の創作縄文土器。ふくらんだお腹とふくよかな頬をして、振るたびに命の音が鳴る土偶鈴。猪風来美術館『秋の縄文野焼き祭り』で、縄文スピリットに学ぶ陶芸教室生をはじめ皆が炎に対峙し汗まみれで焼き上げた作品たち。大自然の野炉で天と大地、太陽と風と火の力によって作品に命が宿り生まれてくる瞬間を共有した感動——それは造形に込められた、すべての生命を守り育む豊穡への祈りの結実です。今回の企画展では、選考・表彰された縄文野焼き大賞など4賞の受賞作品をはじめ約100点を展示いたします。猪風来による水煙渦巻文深鉢（井戸尻考古館所蔵）再現など3点や、村上原野による縄文オブジェ新作も展示。どうぞご高覧ください。



猪風来美術館  
新見市法曾陶芸館

〒719-2552 岡山県新見市法曾609

TEL・FAX 0867-75-2444

<http://www.ifurai.jp/>

縄文野焼き技法の第一人者であり、現代縄文アートの創始者として知られる作家・猪風来(いふうらい)。

猪風来美術館(新見市法曾陶芸館)では縄文野焼き作品をはじめ、法曾焼、絵画など、独自の縄文スパイラル造形による作品二百数十点を常設展示しております。

【開館時間】午前9:30～午後5:00

【休館日】月・火曜(休日は開館)/年末年始

【観覧料】一般400円/高校生200円

【アクセス】岡山から車で約90分

岡山空港から車で約70分

賀陽ICから車で約45分

新見ICから車で約30分

井倉駅からタクシーで約15分

方谷駅からタクシーで約10分